

事業名	観光推進事業
-----	--------

総事業費	445 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	観光・交流の振興
	基本事業名	観光誘客活動の推進

② 実施 (Do)

事業の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・種子島を紹介（PR）してもらう ・PRイベント来場者に種子島を認知してもらう 	
事業の実績 と成果	取組内容	種子島に係る観光PRを行い、種子島の認知及び誘客を図った。
	成果	福岡・大阪・名古屋・東京などで開催された物産展や観光PRイベントに参加したことで、多数の方々に直に種子島の観光をPRすることで、効果的な取組みができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	SNS等、ネットによる観光PRの促進は当たり前であり、より一層の拡充や仕掛けづくりが必要。多数が集う場所での人的投入をしたPR活動の効果について、再検証する必要があるものの、直に人と接することによる親近感等、メリットの部分も大きいと考える。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	<p>ウィズコロナを見据え、今年度はイベント・催事に積極的に参加し、観光PRはもちろんのこと、ふるさと納税・移住定住とワンセットでの取組を行った。種子島に係る観光等のPRを行うことで、種子島の認知及び誘客が促進されるため、今後も継続しての取組を行ってほしい。</p> <p>地道な観光PR活動によって福岡の旅行会社で企画された種子島ツアーについては、宿泊等の関係で中止となった。宿泊関連での個人旅行やツアーの中止・延期については、今後もこのような状況が続くと思われる。</p> <p>来島者の減少により、既存のアクティビティやマリンスポーツ関連事業者の事業継続が危ぶまれる。体験型の事業継続に向けて、島内居住者向けに体験を呼び掛けるなどのPR活動も必要と思われる。</p>

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	前年度同様の取組を進めていくが、多数が集う場所での人的投入をしたPR活動の効果について、再検証する必要がある。加えて、SNS等、ネットによる観光PRの促進をし、より一層の拡充や仕掛けづくりが必要
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	大型客船寄港受入協議会支援事業
-----	-----------------

総事業費	0 千円
------	------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	観光・交流の振興
	基本事業名	観光誘客活動の推進

② 実施 (Do)

事業の意図	種子島の文化・自然・歴史・伝統・産業等を知り、興味を持ってもらう	
事業の実績 と成果	取組内容	新型コロナウイルス感染症により寄港実績なし
	成果	新型コロナウイルス感染症により寄港実績なし

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	特になし。5/10に日本丸が入港予定であるが、引き続き寄港地として選ばれるような誘致活動を展開する必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	新型コロナの影響により、ここ2.3年は寄港実績がない。ウィズコロナを見据え、受入態勢を整備・再確認する必要がある。 大型客船の乗客については船内泊であることから、現在、本市で起こっているような宿泊施設問題でのツアー中止・延期は考えにくく、寄港した場合、多くの誘客につながることから、特産品等の販売機会の増加と売上の確保が期待できる。寄港することにより、地元への大きな経済的な波及効果が予想されるため、引き続き寄港地として選ばれるよう、さらなる積極的な誘致活動を展開する必要がある。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	前年度同様の取組を進めていく。約3年コロナの影響で寄港がなかったが、5/10の日本丸が久しぶりの大型客船の寄港となる。今後も効果的な事業展開のため、SNS等、ネットによるPRの促進をし、より一層の拡充や仕掛けづくりを行っていく。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	水着バス運営補助事業
-----	------------

総事業費	1,026 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	観光・交流の振興
	基本事業名	観光誘客活動の推進

② 実施 (Do)

事業の意図	種子島北部の魅力を知ってもらい、観光客等の滞在時間を増やす。	
事業の実績 と成果	取組内容	浦田海水浴場行きの水着バスを運行し、二次交通を補完する。
	成果	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から浦田海水浴場の利用を一部制限していたこともあり利用者は減となっているが、一定数の利用があることから運行補助から運行委託にし継続して実施していきたい。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	水着バスは、市街地から浦田海水浴場までの往復区間のみの運行であり、ほかの場所でも乗降車できれば更に利用者は増える可能性はある。ただし、行政からの補助が無い限りは交通会社のみでの自社運行は厳しいため、変わる手段（自転車等）の検討を進めていく必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	本市の特徴的な観光地、観光資源としてなくてはならない施設等への移動手段であり、利用者の利便性を考慮した運営方法が望まれる。発着場所や経由地の見直し等で島内外の利用者の利便性を向上し、利用者の増に取り組んでほしい。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	前年度に引き続き、夏休み期間中のバス運行を行う。観光客等の二次交通の利便性の確保・向上はもとより、北部観光の推進を図れるように取り組んでいく。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	種子島滞在型観光促進事業
-----	--------------

総事業費	5,267 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	観光・交流の振興
	基本事業名	観光誘客活動の推進

② 実施 (Do)

事業の意図	もう一泊したいと旅行者に思わせるような島での食や体験といった地域の魅力の旅行商品化や観光サービスの担い手育成等を図る。	
事業の実績 と成果	取組内容	島内1市2町（種子島全体）による事業の展開（PR事業・商品造成販売事業・イベント事業）を行った。本年度は星空観光企画事業として、種子島観光協会に委託し、モデルコースの企画、SNSでの投稿、PR写真・動画撮影、アンケート調査の実施がなされた。
	成果	魅力ある観光コンテンツの企画ができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	本事業（星空観光）のみならず、もう一泊したいと旅行者に思わせるような島での食や体験といった地域の魅力の旅行商品化を積極的に立案していくことが重要。よって、観光協会等との細かな協議が必要となる。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	今年度の実施した事業内容をスタートとし、「もう一泊したい、また行きたい」と旅行者に思わせるような島での食や体験といった地域の魅力の旅行商品化を積極的に推進・実践していくことが今後も必要である。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	前年度同様の取組を進めていくが、連泊につながる地域の魅力の旅行商品化を積極的に立案するためには、観光協会等との細かな協議が必要となる。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明